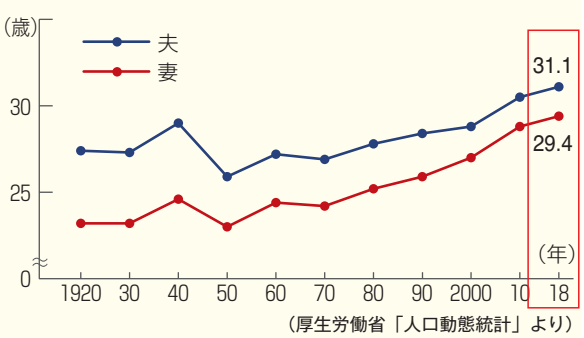
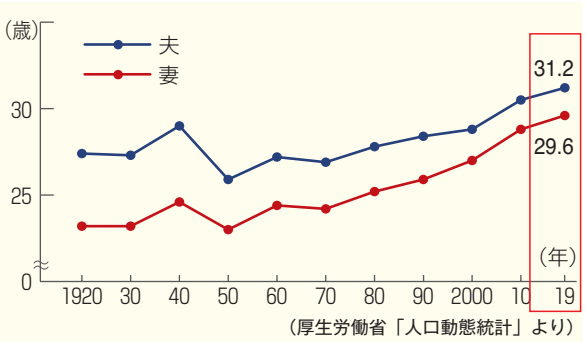
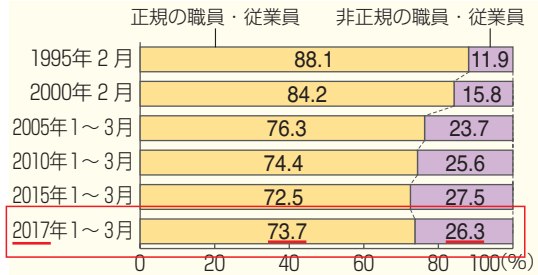
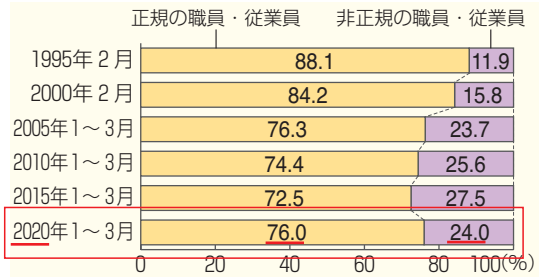
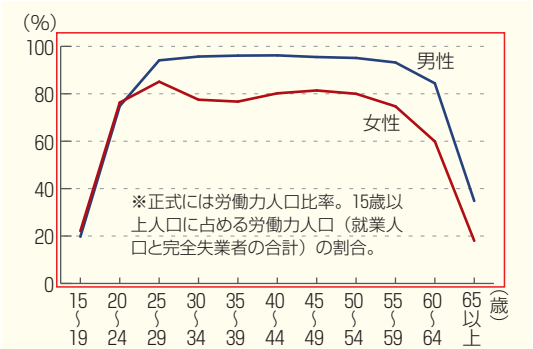
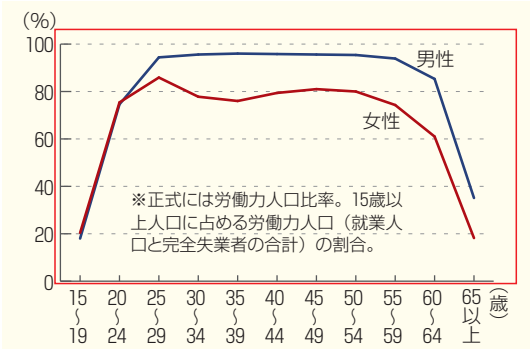
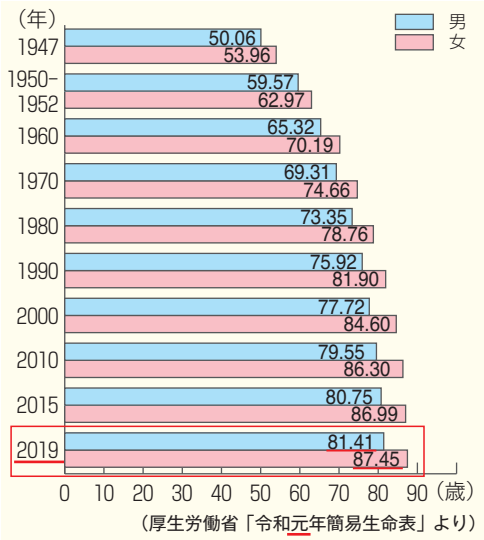
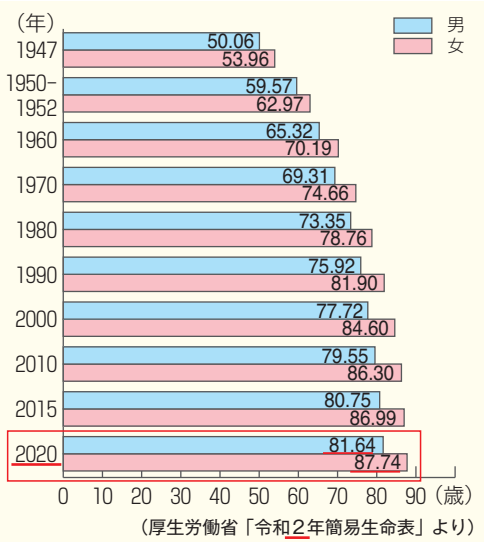
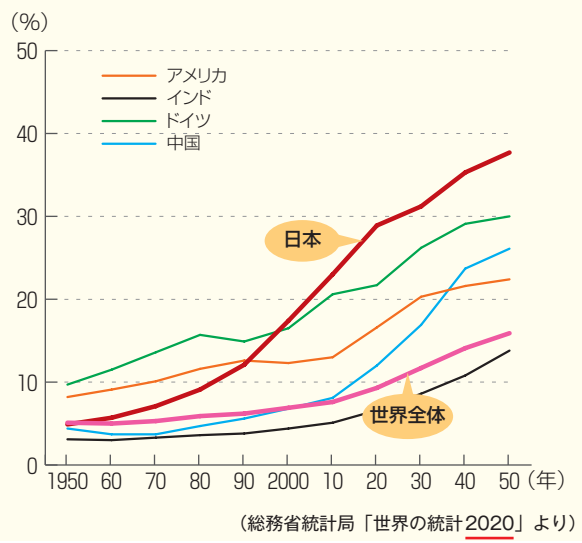
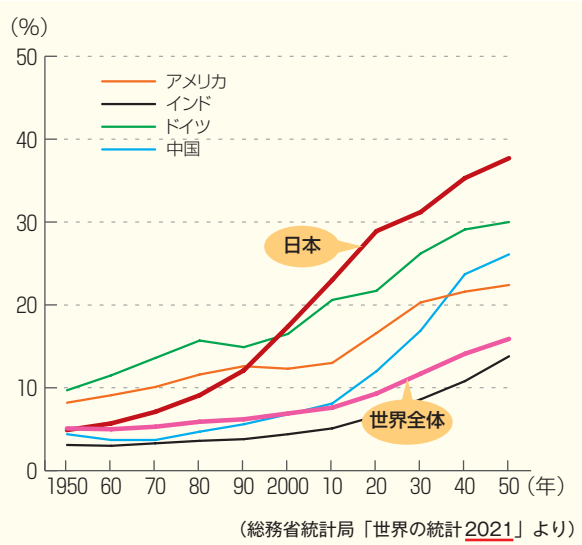
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
6	側注１	81.41歳，女性87.45歳である（厚 生労働省「令和元年簡易生命表」	81.64歳，女性87.74歳である（厚 生労働省「令和2年簡易生命表」
11	図３		
13	表１	（単位：千円） 正社員・正職員 男 / 女 / 正社員・正職員以外 男 / 女 年齢計 351.5 / 269.4 / 234.8 / 189.1 20～24歳 216.5 / 212.4 / 185.3 / 176.7 25～29歳 255.7 / 240.1 / 209.2 / 189.9 30～34歳 296.5 / 259.7 / 221.5 / 191.0 35～39歳 335.5 / 271.5 / 226.3 / 194.7 40～44歳 368.2 / 287.8 / 231.0 / 195.2 45～49歳 399.3 / 295.5 / 240.5 / 192.9 50～54歳 436.3 / 305.9 / 240.8 / 190.3 55～59歳 433.6 / 299.5 / 238.9 / 185.0 60～64歳 344.6 / 273.5 / 260.9 / 188.6 65～69歳 295.6 / 258.3 / 231.0 / 180.0 ※ 常用労働者のうち事業所が「正社員・正職員」とするものを「正社員・正職員」と定義している。（厚生労働省「令和元年賃金構造基本統計調査」より）	（単位：千円） 正社員・正職員 男 / 女 / 正社員・正職員以外 男 / 女 年齢計 350.7 / 269.2 / 240.2 / 193.3 20～24歳 217.3 / 213.3 / 187.8 / 179.7 25～29歳 256.2 / 239.5 / 210.0 / 196.5 30～34歳 294.6 / 258.1 / 222.6 / 195.1 35～39歳 334.7 / 272.9 / 235.3 / 200.6 40～44歳 367.6 / 286.5 / 240.6 / 196.6 45～49歳 396.3 / 293.9 / 245.6 / 198.5 50～54歳 431.2 / 302.6 / 242.6 / 195.6 55～59歳 435.3 / 303.6 / 252.1 / 190.5 60～64歳 350.0 / 272.0 / 266.7 / 190.0 65～69歳 309.7 / 257.0 / 234.7 / 180.9 ※ 常用労働者のうち事業所が「正社員・正職員」とするものを「正社員・正職員」と定義している。（厚生労働省「令和２年賃金構造基本統計調査」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
13	図5	 （総務省「平成29年労働力調査」より） 削除	 （総務省「労働力調査」より）
13	図6	 女性の労働力率は子育て期にあたる30代前半に比率が低下し，40代にかけて再び増加するという特徴がある。これを女性の「**M字型就労**」と呼ぶ。 （総務省「令和元年労働力調査年報」より）	 女性の労働力率は子育て期にあたる30代前半に比率が低下し，40代にかけて再び増加するという特徴がある。これを女性の「**M字型就労**」と呼ぶ。 （総務省「令和２年労働力調査年報」より）

<table>
<tr><th colspan="2">訂正箇所</th><th>令和３年度教科書（旧）</th><th>令和４年度教科書（新）</th></tr>
<tr><th>ページ</th><th>行</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>14</td><td>表３</td><td>
<table>
<tr><th>職　種</th><th>有効求人倍率</th></tr>
<tr><td>専門的・技術的職業</td><td>1.67</td></tr>
<tr><td>　医師・薬剤師等</td><td>2.38</td></tr>
<tr><td>　保健師，助産師等</td><td>1.93</td></tr>
<tr><td>事務的職業</td><td>0.35</td></tr>
<tr><td>販売の職業</td><td>1.62</td></tr>
<tr><td>サービスの職業</td><td>2.35</td></tr>
<tr><td>保安の職業</td><td>5.82</td></tr>
<tr><td>農林漁業の職業</td><td>1.31</td></tr>
<tr><td>生産工程の職業</td><td>1.09</td></tr>
<tr><td>輸送・機械運転の職業</td><td>1.72</td></tr>
</table>
（厚生労働省「一般職業紹介状況 令和２年６月分」より）
</td><td>
<table>
<tr><th>職　種</th><th>有効求人倍率</th></tr>
<tr><td>専門的・技術的職業</td><td>1.61</td></tr>
<tr><td>　医師・薬剤師等</td><td>1.76</td></tr>
<tr><td>　保健師，助産師等</td><td>1.89</td></tr>
<tr><td>事務的職業</td><td>0.33</td></tr>
<tr><td>販売の職業</td><td>1.48</td></tr>
<tr><td>サービスの職業</td><td>2.30</td></tr>
<tr><td>保安の職業</td><td>5.39</td></tr>
<tr><td>農林漁業の職業</td><td>1.25</td></tr>
<tr><td>生産工程の職業</td><td>1.52</td></tr>
<tr><td>輸送・機械運転の職業</td><td>1.77</td></tr>
</table>
（厚生労働省「一般職業紹介状況 令和３年６月分」より）
</td></tr>
<tr><td>20</td><td>表１</td><td>
削除
<table>
<tr><td>結婚</td><td>年齢を問わず戸主の同意が必要。
男30歳，女25歳まで父母の同意が必要</td><td>未成年者は親の同意が必要
男18歳，女16歳から結婚できる*1</td></tr>
<tr><td>夫婦</td><td>妻は法律上無能力者*2 嫁は夫の姓を，婿〈むこ〉は妻の姓を称する</td><td>夫婦は同等の権利・義務をもつ
夫または妻の姓を称する夫婦同姓</td></tr>
<tr><td>再婚</td><td></td><td>再婚禁止期間（女性のみ）100日</td></tr>
<tr><td>親子</td><td>親権者は原則的に父親のみ</td><td>親権者は父母（共同）</td></tr>
<tr><td>相続</td><td>家督相続であり，第１に男子を，第２に嫡出子を，第３に年長者を優先して 一人が相続する</td><td>配偶者と子が均等に相続</td></tr>
</table>
＊1 2022年4月より改正民法施行。男女共に18歳に変更。 削除
＊2 単独では，法律行為を行うことができない者。
</td><td>
<table>
<tr><td>結婚</td><td>年齢を問わず戸主の同意が必要。
男30歳，女25歳まで父母の同意が必要</td><td>男女ともに当人の合意のみで18歳から結婚できる</td></tr>
<tr><td>夫婦</td><td>妻は法律上無能力者*1 嫁は夫の姓を，婿〈むこ〉は妻の姓を称する</td><td>夫婦は同等の権利・義務をもつ
夫または妻の姓を称する夫婦同姓</td></tr>
<tr><td>再婚</td><td></td><td>再婚禁止期間（女性のみ）100日</td></tr>
<tr><td>親子</td><td>親権者は原則的に父親のみ</td><td>親権者は父母（共同）</td></tr>
<tr><td>相続</td><td>家督相続であり，第１に男子を，第２に嫡出子を，第３に年長者を優先して 一人が相続する</td><td>配偶者と子が均等に相続</td></tr>
</table>
＊1 単独では，法律行為を行うことができない者。
</td></tr>
</table>

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和 3 年度教科書（旧）	令和 4 年度教科書（新）
20	表2	①婚姻適齢：男性は満18歳，女性は満16歳になっていること*1（731条）　削除 ②重婚の禁止：すでに配偶者がいる者は重ねて婚姻することができない（732条） ③再婚禁止期間の経過*2：女性の場合，前の婚姻の解消または取消の日から 100日を経過していることが必要（733条） ④近親婚の禁止：直系血族または 3 親等内の傍系血族の間や直系姻族の間では婚姻することができない（734，735条） ⑤父母の同意*3：未成年者が婚姻するときは父母の同意が必要（737条）　削除 *1 2022年 4 月より改正民法施行。男女共に18歳に変更。　削除 *2 前の婚姻の解消・取消後すぐに婚姻すると，子どもが生まれた場合にどちらの子どもかわからなくなるのを防ぐための規定。 *3 父母の一方が同意しないときは，一方の同意で足りる。　削除	①婚姻適齢：男女ともに満18歳になっていること（731条） ②重婚の禁止：すでに配偶者がいる者は重ねて婚姻することができない（732条） ③再婚禁止期間の経過*1：女性の場合，前の婚姻の解消または取消の日から 100日を経過していることが必要（733条） ④近親婚の禁止：直系血族または 3 親等内の傍系血族の間や直系姻族の間では婚姻することができない（734，735条） *1 前の婚姻の解消・取消後すぐに婚姻すると，子どもが生まれた場合にどちらの子どもかわからなくなるのを防ぐための規定。
23	図8	削除 ●民法 第 4 条（成年となる時期） 満20歳をもって成年とする。* ●国民年金法 第 8 条（資格取得の時期） *2022年より民法改正（18歳成人）　削除	●民法 第 4 条（成年となる時期） 18歳をもって成年とする。 ●国民年金法 第 8 条（資格取得の時期）
23	考えてみよう！	現在，民法のおもな改正点として議論されているのは，次の 2 点 ①夫婦が同姓か別々の姓かを選択できる「選択的夫婦別姓制度」 ②婚姻適齢の男女差の解消　削除　削除 それぞれの規定がある理由を調べ，改正のメリット，デメリット	現在，民法のおもな改正点として議論されているのは，次の点で ●夫婦が同姓か別々の姓かを選択できる「選択的夫婦別姓制度」 上記の規定がある理由を調べ，改正のメリット，デメリットを考

<table>
<tr><th colspan="2">訂正箇所</th><th rowspan="2">令和3年度教科書（旧）</th><th rowspan="2">令和4年度教科書（新）</th></tr>
<tr><th>ページ</th><th>行</th></tr>
<tr><td>46</td><td>コラム</td><td>平成30年には約60人の赤ちゃんが</td><td>令和元年には78人の赤ちゃんが</td></tr>
<tr><td>48</td><td>WORLD</td><td>
<table>
<tr><td>アメリカ</td><td>2018年</td><td>1.73</td></tr>
<tr><td>フランス</td><td>2018年</td><td>1.88</td></tr>
<tr><td>スウェーデン</td><td>2018年</td><td>1.75</td></tr>
<tr><td>イギリス</td><td>2018年</td><td>1.70</td></tr>
<tr><td>ドイツ</td><td>2018年</td><td>1.57</td></tr>
<tr><td>タイ</td><td>2013年</td><td>1.40</td></tr>
<tr><td>シンガポール</td><td>2018年</td><td>1.14</td></tr>
<tr><td>韓国</td><td>2018年</td><td>0.98</td></tr>
<tr><td>台湾</td><td>2018年</td><td>1.06</td></tr>
</table>
（内閣府「平成30年版少子化社会対策白書」,「令和2年版少子化社会対策白書」より）
</td><td>
<table>
<tr><td>アメリカ</td><td>2019年</td><td>1.71</td></tr>
<tr><td>フランス</td><td>2019年</td><td>1.84</td></tr>
<tr><td>スウェーデン</td><td>2019年</td><td>1.70</td></tr>
<tr><td>イギリス</td><td>2019年</td><td>1.65</td></tr>
<tr><td>ドイツ</td><td>2019年</td><td>1.54</td></tr>
<tr><td>タイ</td><td>2013年</td><td>1.40</td></tr>
<tr><td>シンガポール</td><td>2019年</td><td>1.14</td></tr>
<tr><td>韓国</td><td>2019年</td><td>0.92</td></tr>
<tr><td>台湾</td><td>2019年</td><td>1.05</td></tr>
</table>
（内閣府「平成30年版少子化社会対策白書」,「令和3年版少子化社会対策白書」より）
</td></tr>
</table>

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
54	図１		
54	図２		

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）
61	図６	健康寿命とは，2000年に世界保健機関（WHO）が提唱した健康に関する指標で，日常的に介護を必要とせず，自立した生活のできる生存期間を示している。日本は，平均寿命が世界一となっており，2016年の報告では，日本人の平均寿命が84歳，健康寿命が75歳である。しかし，世界一とはいえ，健康でない期間が９年間あることとなり，今後は平均寿命と健康寿命の差を縮めていくことが課題である。

諸外国の平均寿命と健康寿命（2016年）

国名	平均寿命	健康寿命	国名	平均寿命	健康寿命
日本	**84年**	**75年**	中国	76年	69年
イタリア	83年	73年	インド	69年	59年
スウェーデン	82年	72年	インドネシア	69年	62年
ドイツ	81年	72年	フィリピン	69年	62年
フランス	83年	73年	韓国	83年	73年
イギリス	81年	72年	シンガポール	83年	76年
アメリカ合衆国	79年	69年	タイ	76年	67年

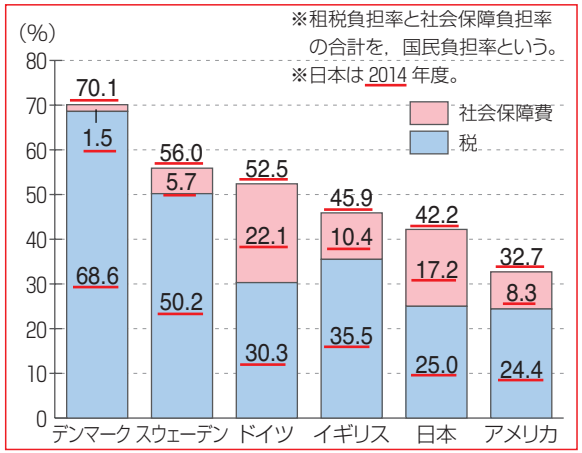
（WHO「World Health Statistics 2020」より）

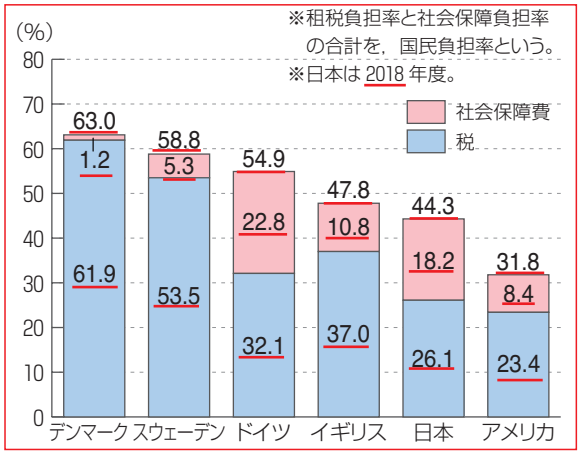
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和4年度教科書（新）
61	図６	健康寿命とは，2000年に世界保健機関（WHO）が提唱した健康に関する指標で，日常的に介護を必要とせず，自立した生活のできる生存期間を示している。日本は，平均寿命が世界一となっており，2019年の報告では，日本人の平均寿命が84歳，健康寿命が74歳である。しかし，世界一とはいえ，健康でない期間が10年間あることとなり，今後は平均寿命と健康寿命の差を縮めていくことが課題である。

諸外国の平均寿命と健康寿命（2019年）

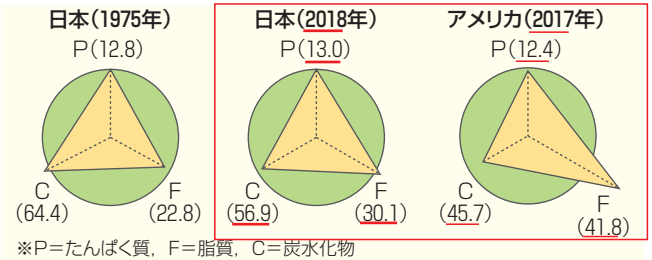
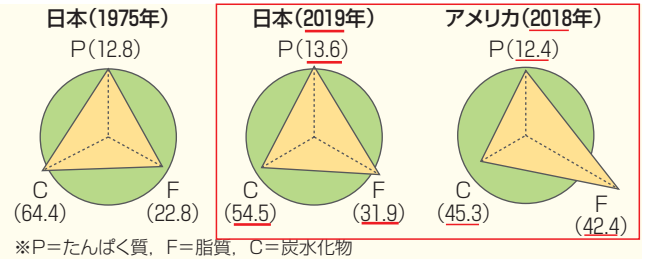
国名	平均寿命	健康寿命	国名	平均寿命	健康寿命
日本	**84年**	**74年**	中国	77年	69年
イタリア	83年	72年	インド	71年	60年
スウェーデン	82年	72年	インドネシア	71年	63年
ドイツ	82年	71年	フィリピン	70年	62年
フランス	83年	72年	韓国	83年	73年
イギリス	81年	70年	シンガポール	83年	74年
アメリカ合衆国	79年	66年	タイ	78年	68年

（WHO「World Health Statistics 2021」より）

<table>
<tr><th colspan="2">訂正箇所</th><th>令和３年度教科書（旧）</th><th>令和４年度教科書（新）</th></tr>
<tr><th>ページ</th><th>行</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>72</td><td>表３</td><td>
<table>
<tr><td>要支援１</td><td>日常生活の一部に若干の低下があり，介護予防サービスを提供すれば改善が見込まれる。</td><td>50,030円</td></tr>
<tr><td>要支援２</td><td>日常生活の一部に低下があり，介護予防サービスを提供すれば改善が見込まれる。</td><td>104,730円</td></tr>
<tr><td>要介護１</td><td>身の回りの世話に何らかの見守りや手助けが必要。</td><td>166,920円</td></tr>
<tr><td>要介護２</td><td>身の回りの世話全般に見守りや手助けが必要。排せつや食事に介助が必要。複雑な動作や移動で支えが必要。</td><td>196,160円</td></tr>
<tr><td>要介護３</td><td>身の回りの世話が自分一人ではできない。排せつや移動が一人ではできない。いくつかの問題行動や理解の低下がみられる。</td><td>269,310円</td></tr>
<tr><td>要介護４</td><td>身の回りの世話や移動の動作が一人ではできず，全面的な介助が必要な場合が多い。問題行動や理解の低下がみられる。</td><td>308,060円</td></tr>
<tr><td>要介護５</td><td>日常生活を営む機能が著しく低下しており，全面的な介助が必要。多くの問題行動や全般的な理解の低下がみられる。</td><td>360,650円</td></tr>
</table>
（支給限度基準額は令和2年現在。）
</td><td>
<table>
<tr><td>要支援１</td><td>日常生活の一部に若干の低下があり，介護予防サービスを提供すれば改善が見込まれる。</td><td>50,320円</td></tr>
<tr><td>要支援２</td><td>日常生活の一部に低下があり，介護予防サービスを提供すれば改善が見込まれる。</td><td>105,310円</td></tr>
<tr><td>要介護１</td><td>身の回りの世話に何らかの見守りや手助けが必要。</td><td>167,650円</td></tr>
<tr><td>要介護２</td><td>身の回りの世話全般に見守りや手助けが必要。排せつや食事に介助が必要。複雑な動作や移動で支えが必要。</td><td>197,050円</td></tr>
<tr><td>要介護３</td><td>身の回りの世話が自分一人ではできない。排せつや移動が一人ではできない。いくつかの問題行動や理解の低下がみられる。</td><td>270,480円</td></tr>
<tr><td>要介護４</td><td>身の回りの世話や移動の動作が一人ではできず，全面的な介助が必要な場合が多い。問題行動や理解の低下がみられる。</td><td>309,380円</td></tr>
<tr><td>要介護５</td><td>日常生活を営む機能が著しく低下しており，全面的な介助が必要。多くの問題行動や全般的な理解の低下がみられる。</td><td>362,170円</td></tr>
</table>
（支給限度基準額は令和3年現在。）
</td></tr>
<tr><td>78</td><td>課題研究
右下図</td><td>
●各国の国民所得に占める税・社会保障費の割合（2014年）


</td><td>
●各国の国民所得に占める税・社会保障費の割合（2018年）


</td></tr>
</table>

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
81	図４	 ※P＝たんぱく質，F＝脂質，C＝炭水化物 ※円は適正比率を示す。**P=13，F=27，C=60** （農林水産省「平成 22 年 食料・農業・農村基本計画」で示された平成 32 年度*における目標値）　*掲載当時の表記による ※厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2020 年版）」では，エネルギーを産生する栄養素が総エネルギー摂取量に占めるべき割合（% エネルギー）として**エネルギー産生栄養素バランス（たんぱく質=13 ～ 20（1 ～ 49 歳），脂質=20 ～ 30，炭水化物=50 ～ 65）**を示している注。 （農林水産省「令和元年度食料需給表」，「平成 26 年度食料・農業・農村の動向参考統計表」より）	 ※P＝たんぱく質，F＝脂質，C＝炭水化物 ※円は適正比率を示す。**P=13，F=27，C=60** （農林水産省「平成 22 年 食料・農業・農村基本計画」で示された平成 32 年度*における目標値）　*掲載当時の表記による ※厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2020 年版）」では，エネルギーを産生する栄養素が総エネルギー摂取量に占めるべき割合（% エネルギー）として**エネルギー産生栄養素バランス（たんぱく質=13 ～ 20（1 ～ 49 歳），脂質=20 ～ 30，炭水化物=50 ～ 65）**を示している注。 （農林水産省「令和２年度食料需給表」，「平成 26 年度食料・農業・農村の動向参考統計表」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）
86	図９	

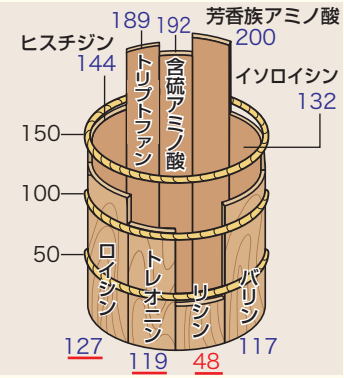
$$\frac{\text{食品たんぱく質中の各必須アミノ酸の量（mg/gたんぱく質）}}{\text{アミノ酸評点パターンの値（mg/gたんぱく質）}} \times 100$$

アミノ酸評点パターンとは，人間にとって理想的なアミノ酸組成である。
上の計算式で求めた値のうち，最小値をアミノ酸価という。
すべての価が100以上の場合，アミノ酸価は100である。

小麦粉（薄力粉）の場合　（単位：mg/gたんぱく質）

必須アミノ酸	アミノ酸評点パターン(2007) 1～2歳 (A)	小麦粉のアミノ酸 (2015) (B)	(B)/(A)×100
イソロイシン	31	41	132
ロイシン	63	80	127
リシン	52	25	48 *
含硫アミノ酸 **	26	50	192
芳香族アミノ酸 ***	46	92	200
トレオニン	27	32	119
トリプトファン	7.4	14	189
バリン	42	49	117
ヒスチジン	18	26	144

＊もっとも不足しているリシンを第一制限アミノ酸といい，小麦粉のアミノ酸価は48となる。
＊＊含硫アミノ酸：メチオニン＋シスチン　＊＊＊芳香族アミノ酸：フェニルアラニン＋チロシン
＊＊＊＊ここでは，アミノ酸評点パターンの数値は，「WHO/FAO/UNU合同専門協議会報告」の1～2歳の数値を，アミノ酸の値は，文部科学省「日本食品標準成分表2015年版（七訂）アミノ酸成分表編」の第3表アミノ酸組成によるたんぱく質1gあたりのアミノ酸成分表の数値を使用した。



赤字は小麦粉のアミノ酸価。このおけに水を入れても，リシンまでしか入らない。つまり，リシンより上の部分はたんぱく質合成には使われない。

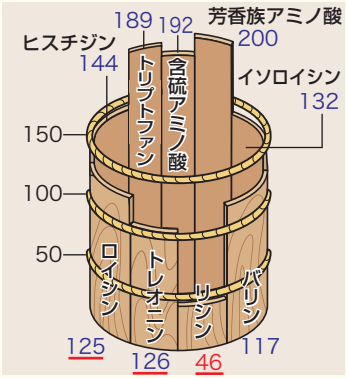
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和4年度教科書（新）
86	図9	

$$\frac{\text{食品たんぱく質中の各必須アミノ酸の量（mg/gたんぱく質）}}{\text{アミノ酸評点パターンの値（mg/gたんぱく質）}} \times 100$$

アミノ酸評点パターンとは，人間にとって理想的なアミノ酸組成である。
上の計算式で求めた値のうち，最小値をアミノ酸価という。
すべての価が100以上の場合，アミノ酸価は100である。

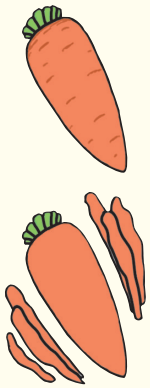
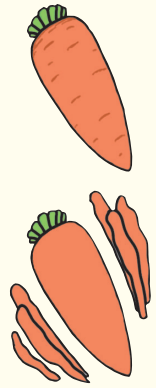
小麦粉（薄力粉）の場合　（単位：mg/gたんぱく質）

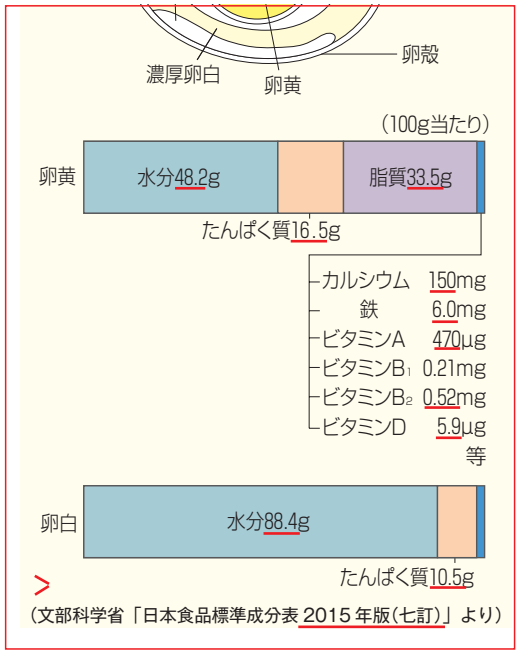
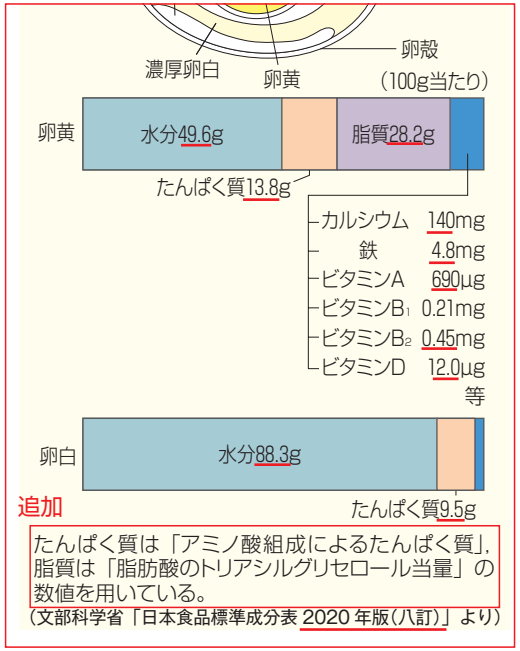
必須アミノ酸	アミノ酸評点パターン(2007) 1～2歳 (A)	小麦粉のアミノ酸 (2020) (B)	(B)/(A)×100
イソロイシン	31	41	132
ロイシン	63	79	125
リシン	52	24	46 *
含硫アミノ酸 **	26	50	192
芳香族アミノ酸 ***	46	92	200
トレオニン	27	34	126
トリプトファン	7.4	14	189
バリン	42	49	117
ヒスチジン	18	26	144



赤字は小麦粉のアミノ酸価。このおけに水を入れても，リシンまでしか入らない。つまり，リシンより上の部分はたんぱく質合成には使われない。

＊もっとも不足しているリシンを第一制限アミノ酸といい，小麦粉のアミノ酸価は46となる。
＊＊含硫アミノ酸：メチオニン＋シスチン　＊＊＊芳香族アミノ酸：フェニルアラニン＋チロシン
＊＊＊＊ここでは，アミノ酸評点パターンの数値は，「WHO/FAO/UNU合同専門協議会報告」の1～2歳の数値を，アミノ酸の値は，文部科学省「日本食品標準成分表2020年版（八訂）アミノ酸成分表編」の第3表アミノ酸組成によるたんぱく質1gあたりのアミノ酸成分表の数値を使用した。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和 3 年度教科書（旧）	令和 4 年度教科書（新）
89	図 15	（文部科学省「日本食品標準成分表 2015 年版（七訂）」より）	（文部科学省「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）」より）
91	図 17	 皮付きのにんじん エネルギー 39kcal β-カロテン当量 8,600μg ビタミン B_1 0.07mg 食物繊維 2.8g 皮をむいたにんじん エネルギー 36kcal β-カロテン当量 8,300μg ビタミン B_1 0.07mg 食物繊維 2.4g （文部科学省「日本食品標準成分表 2015 年版（七訂）」より）	 皮付きのにんじん エネルギー 35kcal β-カロテン当量 8,600μg ビタミン B_1 0.07mg 食物繊維 2.8g 皮をむいたにんじん エネルギー 30kcal β-カロテン当量 8,300μg ビタミン B_1 0.07mg 食物繊維 2.4g （文部科学省「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）」より）
91	表 11	（可食部100g 当たり） たまねぎ 生 37 89.7 8 1.6 たまねぎ 水さらし 26 93.0 5 1.5 たまねぎ ゆで 31 91.5 5 1.7 青ピーマン 生 22 93.4 76 2.3 青ピーマン 油炒め（いため） 61 89.0 79 2.4 きゅうり 生 14 95.4 14 1.1 きゅうり 漬物（つけもの）（塩漬） 16 92.1 11 1.3 （文部科学省「日本食品標準成分表 2015 年版（七訂）」より）	（可食部100g 当たり） たまねぎ 生 33 90.1 7 1.5 たまねぎ 水さらし 24 93.0 5 1.5 たまねぎ ゆで 30 91.5 5 1.7 青ピーマン 生 20 93.4 76 2.3 青ピーマン 油炒め（いため） 54 89.0 79 2.4 きゅうり 生 13 95.4 14 1.1 きゅうり 漬物（つけもの）（塩漬） 17 92.1 11 1.3 （文部科学省「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和 3 年度教科書（旧）	令和 4 年度教科書（新）
93	図 20		

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
104	側注2	❷日本食品標準成分表2015年版（七訂）には，2,191食品の成分が	❷日本食品標準成分表2020年版（八訂）には，2,478食品の成分が
	9	「日本食品標準成分表2015年版（七訂）❷」には，	「日本食品標準成分表2020年版（八訂）❷」には，
	13	「日本人の食事摂取基準」と「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」	「日本人の食事摂取基準」と「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」
	考えてみよう！	鶏卵（小1個）50g の栄養価を計算してみよう。 ＜例＞エネルギー 100g 当たりのエネルギー摂取量は，151kcal（栄養成分表より） 151（kcal）× $\frac{50}{100}$ ≒76kcal ※小数点第１位を四捨五入	鶏卵（1個）55g の栄養価を計算してみよう。 ＜例＞エネルギー 100g 当たりのエネルギー摂取量は，142kcal（栄養成分表より） 142（kcal）× $\frac{55}{100}$ ≒78kcal ※小数点第１位を四捨五入

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）
106	表5	

表５　４つの食品群による摂取量のめやす（１人１日当たりの重量＝g）

（香川明夫 監修）

身体活動レベル	食品群	第１群				第２群				第３群						第４群					
	年齢（歳）	乳・乳製品		卵		魚介・肉		豆・豆製品		野菜		いも		くだもの		穀類		油脂		砂糖	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体活動レベルⅠ（低い）	12～14	380	380	50	50	150	120	80	80	350	350	100	100	200	200	320	280	20	20	10	10
	15～17	320	320	50	50	150	120	80	80	350	350	100	100	200	200	370	260	25	20	10	10
	18～29	300	250	50	50	180	100	80	80	350	350	100	100	200	200	330	220	20	15	10	10
	30～49	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	330	230	20	15	10	10
	50～64	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	320	210	20	15	10	10
	65～74	250	250	50	50	120	100	80	80	350	350	100	100	200	200	300	180	15	10	10	10
	75以上	250	200	50	50	120	80	80	80	350	350	100	100	200	200	240	170	15	10	10	5
	妊婦		250		50		150		80		350		100		200		320		20		10
	授乳婦		250		50		120		80		350		100		200		290		20		10
身体活動レベルⅡ（ふつう）	12～14	380	380	50	50	170	120	80	80	350	350	100	100	200	200	380	360	25	20	10	10
	15～17	320	320	50	50	200	120	80	80	350	350	100	100	200	200	430	350	30	20	10	10
	18～29	300	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	390	290	30	15	10	10
	30～49	250	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	400	300	30	15	10	10
	50～64	250	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	390	280	25	15	10	10
	65～74	250	250	50	50	170	120	80	80	350	350	100	100	200	200	360	250	20	15	10	10
	75以上	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	310	210	15	15	10	10
	妊婦		250		50		170		80		350		100		200		370		25		10
	授乳婦		250		50		170		80		350		100		200		350		20		10
身体活動レベルⅢ（高い）	12～14	380	380	50	50	200	170	80	80	350	350	100	100	200	200	450	400	25	25	10	10
	15～17	380	320	50	50	200	170	120	80	350	350	100	100	200	200	490	380	30	20	10	10
	18～29	380	300	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	360	30	20	10	10
	30～49	380	250	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	360	30	20	10	10
	50～64	320	250	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	320	25	20	10	10
	65～74	320	250	50	50	200	120	80	80	350	350	100	100	200	200	440	310	25	15	10	10
	授乳婦		320		50		170		80		350		100		200		420		25		10

①野菜はきのこ，海藻を含む。また，野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。②エネルギー量は，「日本人の食事摂取基準（2020年版）」の参考表・推定エネルギー必要量の約93～97%の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調節すること。③食品構成は「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」で計算。④妊婦においては，この表では妊娠後期の数値を掲載した。

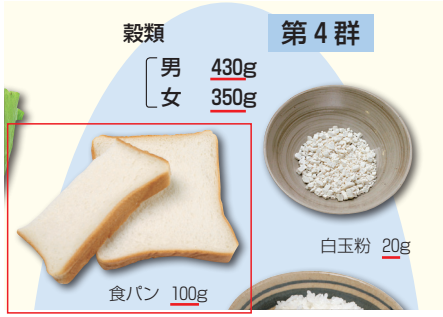
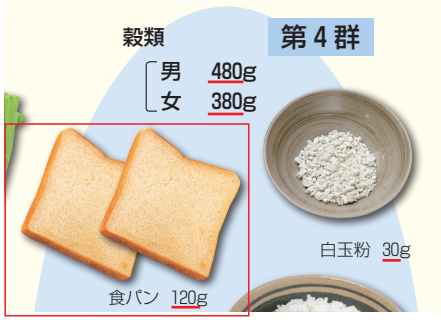
訂正箇所		令和4年度教科書（新）
ページ	行	
106	表5	

表 5　4 つの食品群による摂取量のめやす（1 人 1 日当たりの重量＝g）

（香川明夫 監修）

身体活動レベル	食品群	第 1 群				第 2 群				第 3 群						第 4 群					
	年齢（歳）	乳・乳製品		卵		魚介・肉		豆・豆製品		野菜		いも		くだもの		穀類		油脂		砂糖	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体活動レベルⅠ（低い）	12 ～ 14	380	380	55	55	150	120	80	80	350	350	100	100	150	150	360	310	20	20	10	10
	15 ～ 17	320	320	55	55	150	120	80	80	350	350	100	100	150	150	420	300	25	20	10	10
	18 ～ 29	300	250	55	55	180	100	80	80	350	350	100	100	150	150	370	240	20	15	10	10
	30 ～ 49	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	370	250	20	15	10	10
	50 ～ 64	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	360	230	20	15	10	10
	65 ～ 74	250	250	55	55	120	100	80	80	350	350	100	100	150	150	340	200	15	10	10	10
	75 以上	250	200	55	55	120	80	80	80	350	350	100	100	150	150	270	190	15	10	10	5
	妊婦		250		55		150		80		350		100		150		360		20		10
	授乳婦		250		55		120		80		350		100		150		330		20		10
身体活動レベルⅡ（ふつう）	12 ～ 14	380	380	55	55	170	120	80	80	350	350	100	100	150	150	430	390	25	20	10	10
	15 ～ 17	320	320	55	55	200	120	80	80	350	350	100	100	150	150	480	380	30	20	10	10
	18 ～ 29	300	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	440	320	30	15	10	10
	30 ～ 49	250	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	450	330	30	15	10	10
	50 ～ 64	250	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	440	300	25	15	10	10
	65 ～ 74	250	250	55	55	170	120	80	80	350	350	100	100	150	150	400	280	20	15	10	10
	75 以上	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	340	230	15	15	10	10
	妊婦		250		55		180		80		350		100		150		420		25		10
	授乳婦		320		55		180		80		350		100		150		380		20		10
身体活動レベルⅢ（高い）	12 ～ 14	380	380	55	55	200	170	80	80	350	350	100	100	150	150	510	450	25	25	10	10
	15 ～ 17	380	320	55	55	200	170	120	80	350	350	100	100	150	150	550	430	30	20	10	10
	18 ～ 29	380	300	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	390	30	20	10	10
	30 ～ 49	380	250	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	390	30	20	10	10
	50 ～ 64	320	250	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	360	25	20	10	10
	65 ～ 74	320	250	55	55	200	130	80	80	350	350	100	100	150	150	480	340	25	15	10	10
	授乳婦		320		55		170		80		350		100		150		470		25		10

①野菜はきのこ，海藻を含む。また，野菜の 1/3 以上は緑黄色野菜でとることとする。②エネルギー量は，「日本人の食事摂取基準（2020 年版）」の参考表・推定エネルギー必要量の約 93 ～ 97%の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調節すること。③食品構成は「日本食品標準成分表 2020 年版（八訂）」で計算。④妊婦においては，この表では妊娠後期の数値を掲載した。

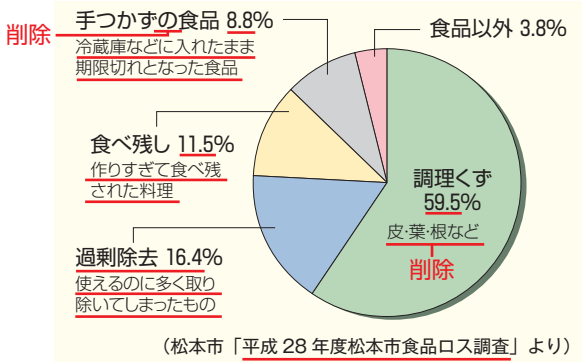
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
107	図3	  	 

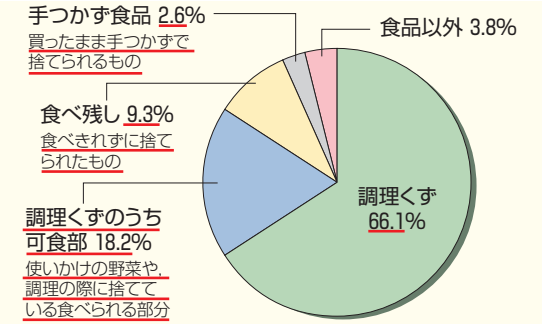
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）
108	表6	

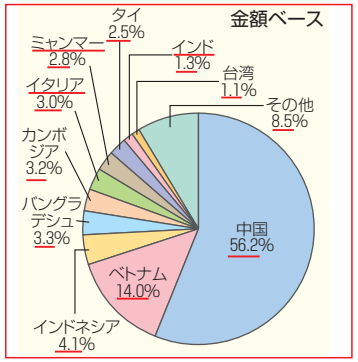
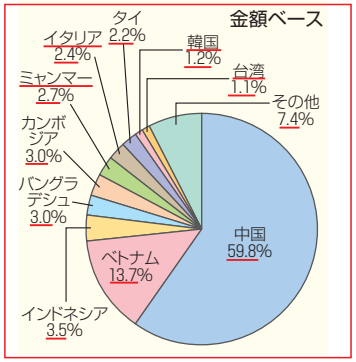
	献立	材料	g	乳 乳製品	卵	魚介 肉	豆 豆製品	野菜	いも	くだもの	穀類	油脂	砂糖	(kcal)
朝食	チーズトースト	食パン	100								100			649
		チーズ	40	40										
	目玉焼き	鶏卵	50		50									
		サラダ油	4									4		
	サラダ	レタス	30					30						
		きゅうり	20					20						
		赤ピーマン	20					20						
		にんじん	20					20						
		ドレッシング※1	4									2		
	フルーツヨーグルト	ヨーグルト	80	80										
		りんご	100							100				
昼食	いかとトマトのスパゲッティ	スパゲッティ	100								100			680
		いか	60			60								
		トマト	80					80						
		オリーブオイル	8									8		
	豆乳スープ	豆乳	60				60							
		ベーコン	10			10								
		たまねぎ	30					30						
		じゃがいも	50						50					
	フルーツ	キウイフルーツ	50							50				
		りんご	50							50				
間食	さつまいも白玉	さつまいも	50						50					312
		白玉粉	20								20			
		砂糖	4										4	
	抹茶ミルク	牛乳	200	200										
		抹茶（粉末）	2											
		砂糖	4										4	
夕食	飯	米	130								130			681
	豆腐のみそ汁※2	豆腐	20				20							
		わかめ（乾）※3	1					10						
	鶏肉のみぞれ煮	鶏肉	50			50								
		ひじき（乾）※4	5					20						
		大根	50					50						
		砂糖	2										2	
	きのことほうれん草のソテー	しめじ	20					20						
		ほうれん草	50					50						
		バター	6									6		
合計				320	50	120	80	350	100	200	350	20	10	2,322
身体活動レベルⅡ15-17歳女子めやす量				320	50	120	80	350	100	200	350	20	10	2,300
身体活動レベルⅡ15-17歳男子めやす量				320	50	200	80	350	100	200	430	30	10	2,800

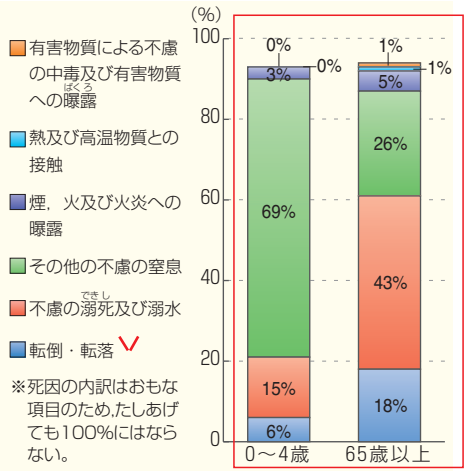
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和4年度教科書（新）
108	表6	

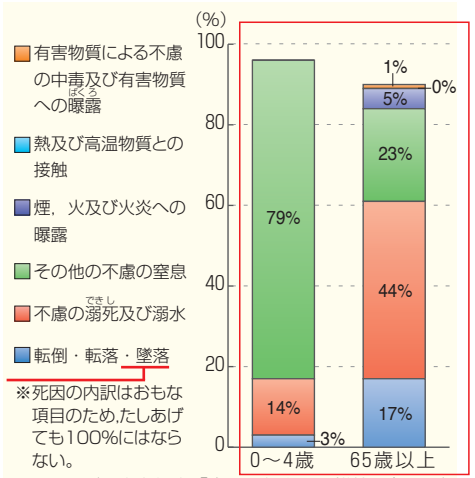
	献立	材料	g	乳 乳製品	卵	魚介 肉	豆 豆製品	野菜	いも	くだもの	穀類	油脂	砂糖	(kcal)
朝食	チーズトースト	食パン	120								120			633
		チーズ	40	40										
	目玉焼き	鶏卵	55		55									
		サラダ油	4									4		
	サラダ	レタス	30					30						
		きゅうり	20					20						
		赤ピーマン	20					20						
		にんじん	20					20						
		ドレッシング※1	4									2		
	フルーツヨーグルト	ヨーグルト	80	80										
		りんご	50							50				
昼食	いかとトマトのスパゲッティ	スパゲッティ	100								100			631
		いか	60			60								
		トマト	80					80						
		オリーブオイル	8									8		
	豆乳スープ	豆乳	60				60							
		ベーコン	10			10								
		たまねぎ	30					30						
		じゃがいも	50						50					
	フルーツ	キウイフルーツ	50							50				
		りんご	50							50				
間食	さつまいも白玉	さつまいも	50						50					325
		白玉粉	30								30			
		砂糖	4										4	
	抹茶ミルク	牛乳	200	200										
		抹茶（粉末）	2											
		砂糖	4										4	
夕食	飯	米	130								130			673
	豆腐のみそ汁※2	豆腐	20				20							
		わかめ（乾）※3	1					10						
	鶏肉のみぞれ煮	鶏肉	50			50								
		ひじき（乾）※4	5					20						
		大根	50					50						
		砂糖	2										2	
	きのことほうれん草のソテー	しめじ	20					20						
		ほうれん草	50					50						
		バター	6									6		
合計				320	55	120	80	350	100	150	380	20	10	2,262
身体活動レベルⅡ15-17歳女子めやす量				320	55	120	80	350	100	150	380	20	10	2,300
身体活動レベルⅡ15-17歳男子めやす量				320	55	200	80	350	100	150	480	30	10	2,800

<table>
<tr><th colspan="2">訂正箇所</th><th>令和 3 年度教科書（旧）</th><th>令和 4 年度教科書（新）</th></tr>
<tr><th>ページ</th><th>行</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>108</td><td>表6</td><td>【男子の献立変更例】
昼食と夕食の穀類（スパゲッティ，飯）を40g ずつ増やす。</td><td>【男子の献立変更例】
昼食と夕食の穀類（スパゲッティ，飯）を50g ずつ増やす。</td></tr>
<tr><td>111</td><td>図6</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>小さじ（5 mL）</th><th>大さじ（15mL）</th><th>カップ（200mL）</th></tr>
<tr><td>パン粉（乾燥）</td><td>1 g</td><td>3 g</td><td>40g</td></tr>
<tr><td>トマトケチャップ</td><td>5</td><td>15</td><td>230</td></tr>
<tr><td>牛乳</td><td>5</td><td>15</td><td>210</td></tr>
<tr><td>粉ゼラチン</td><td>3</td><td>9</td><td>130</td></tr>
</table>
</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>小さじ（5 mL）</th><th>大さじ（15mL）</th><th>カップ（200mL）</th></tr>
<tr><td>パン粉（乾燥）</td><td>1 g</td><td>3 g</td><td>40g</td></tr>
<tr><td>トマトケチャップ</td><td>6</td><td>18</td><td>240</td></tr>
<tr><td>牛乳</td><td>5</td><td>15</td><td>210</td></tr>
<tr><td>粉ゼラチン</td><td>3</td><td>9</td><td>—</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>113</td><td>図 11</td><td> 

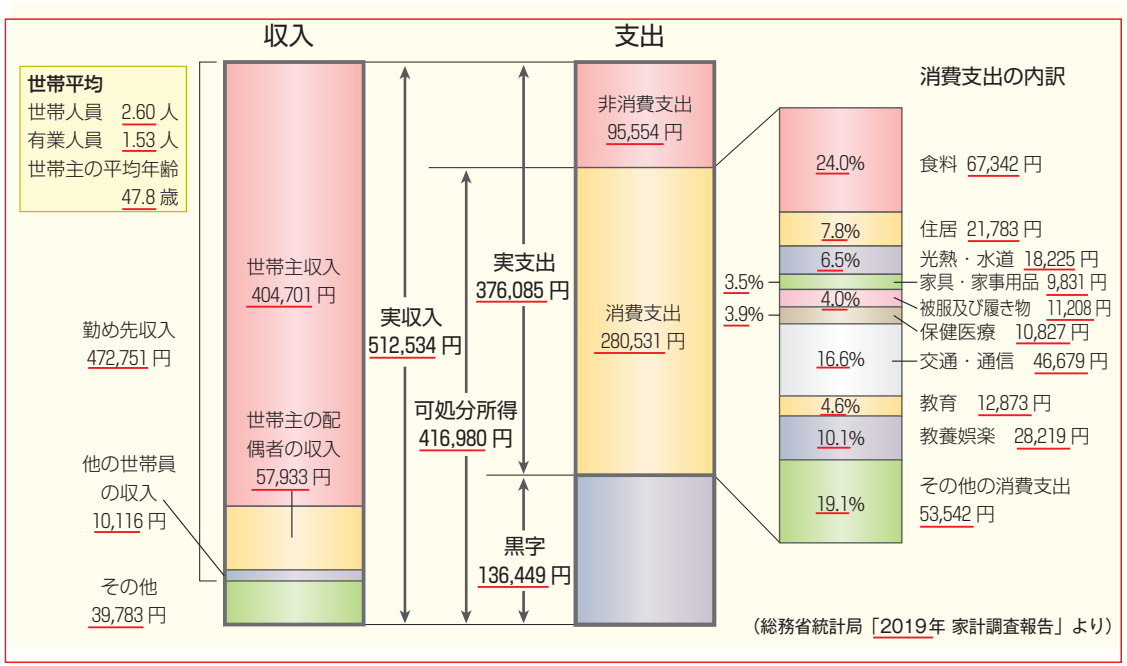
（松本市「平成 28 年度松本市食品ロス調査」より）</td><td> 

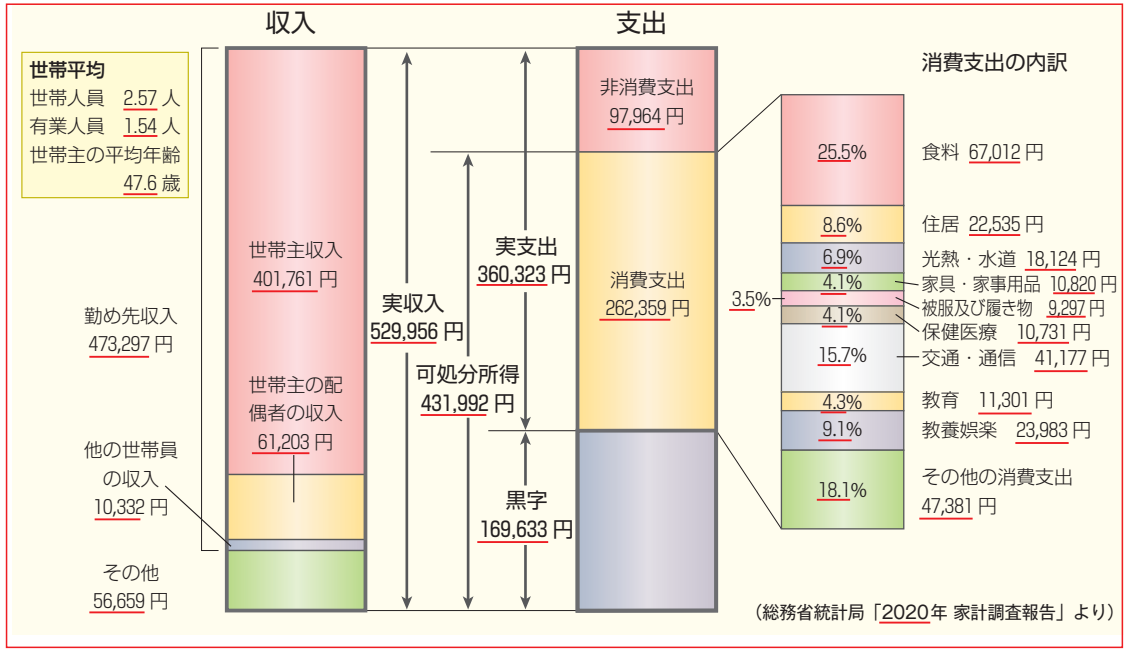
（松本市「令和元年度松本市一般廃棄物組成・食品ロス調査」より）</td></tr>
<tr><td>152</td><td>図8</td><td>図 8 繊維製品輸入相手国（2019）
 
</td><td>図 8 繊維製品輸入相手国（2020）
 
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">訂正箇所</th><th>令和３年度教科書（旧）</th><th>令和４年度教科書（新）</th></tr>
<tr><th>ページ</th><th>行</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>166</td><td>図４</td><td> 

（厚生労働省「平成29年人口動態統計」より）</td><td> 

（厚生労働省「令和元年人口動態統計」より）</td></tr>
<tr><td>186</td><td>表１</td><td>**表１ 相談件数の多かった商品・サービス（2018年度）**
<table>
<tr><th>順位</th><th>商品・サービス</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>1</td><td>商品一般</td><td>227,605</td></tr>
<tr><td>2</td><td>デジタルコンテンツその他</td><td>74,354</td></tr>
<tr><td>3</td><td>健康食品</td><td>32,735</td></tr>
<tr><td>4</td><td>インターネット接続回線</td><td>32,673</td></tr>
<tr><td>5</td><td>賃貸アパート・マンション</td><td>32,342</td></tr>
<tr><td>6</td><td>フリーローン・サラ金</td><td>25,108</td></tr>
<tr><td>7</td><td>移動通信サービス</td><td>23,595</td></tr>
<tr><td>8</td><td>化粧品</td><td>20,225</td></tr>
<tr><td>9</td><td>アダルト情報サイト</td><td>18,695</td></tr>
<tr><td>10</td><td>相談その他</td><td>14,182</td></tr>
</table>
全国の消費生活センターが受けつけた消費者相談の総件数は，2018年度で99万件以上に上り，内容は，契約にかかわるトラブルや商品の品質や安全にかかわるものなど，多岐にわたる。
（国民生活センター「消費生活年報2019」より）</td><td>**表１ 相談件数の多かった商品・サービス（2019年度）**
<table>
<tr><th>順位</th><th>商品・サービス</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>1</td><td>商品一般</td><td>139,077</td></tr>
<tr><td>2</td><td>健康食品</td><td>54,399</td></tr>
<tr><td>3</td><td>デジタルコンテンツその他</td><td>49,733</td></tr>
<tr><td>4</td><td>化粧品</td><td>34,373</td></tr>
<tr><td>5</td><td>インターネット接続回線</td><td>33,759</td></tr>
<tr><td>6</td><td>賃貸アパート・マンション</td><td>31,272</td></tr>
<tr><td>7</td><td>移動通信サービス</td><td>25,296</td></tr>
<tr><td>8</td><td>フリーローン・サラ金</td><td>21,919</td></tr>
<tr><td>9</td><td>他の役務サービス</td><td>18,111</td></tr>
<tr><td>10</td><td>相談その他</td><td>14,088</td></tr>
</table>
全国の消費生活センターが受けつけた消費者相談の総件数は，2019年度で93万件以上に上り，内容は，契約にかかわるトラブルや商品の品質や安全にかかわるものなど，多岐にわたる。
（国民生活センター「消費生活年報2020」より）</td></tr>
<tr><td>188</td><td>側注４</td><td>法がある。2018年の自己破産件数は，71,543件であった（最高裁判所「司法統計年報」より。）</td><td>法がある。2019年の自己破産件数は，73,095件であった（最高裁判所「司法統計年報」より。）</td></tr>
</table>

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和 3 年度教科書（旧）
196	図 1	

訂正箇所		令　和　4　年　度　教　科　書（　新　）
ページ	行	
196	図 1	

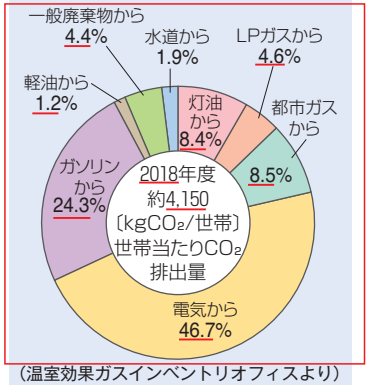
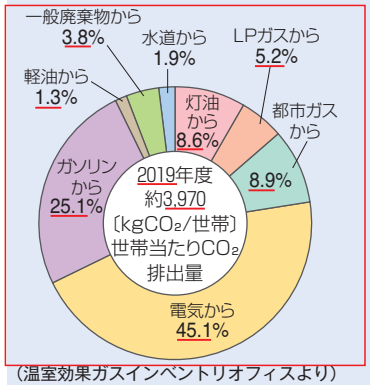
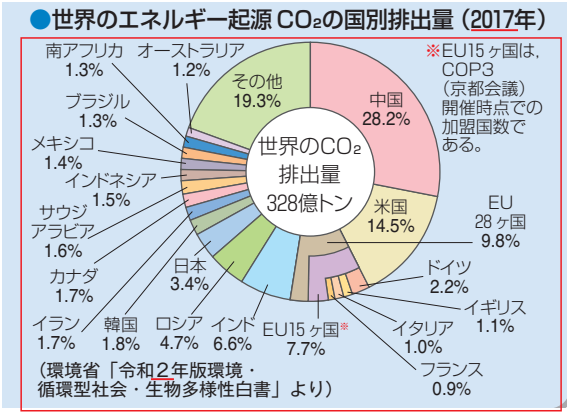
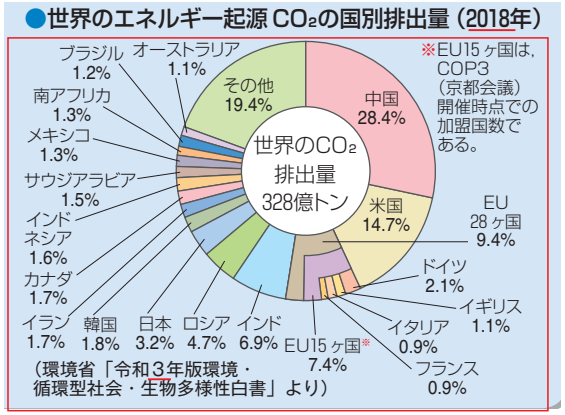
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和3年度教科書（旧）
200	課題研究 上表	

結婚にかかる費用　（単位：万円）

	全国	北海道	首都圏	東海	関西	九州
挙式，披露宴・披露パーティ総額	354.9	200.2	377.9	353.4	333.9	382.7

（ゼクシィ「結婚トレンド調査2019」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和4年度教科書（新）
200	課題研究 上表	**結婚にかかる費用**（単位：万円） 全国 / 北海道 / 首都圏 / 東海 / 関西 / 九州 挙式，披露宴・披露パーティ総額：362.3 / 203.8 / 382.6 / 354.1 / 359.5 / 387.6 （ゼクシィ「結婚トレンド調査2020」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
210	コラム	 （温室効果ガスインベントリオフィスより）	 （温室効果ガスインベントリオフィスより）
210	WORLD